

令和5年度

# 金山町当初予算の概要

(報道・公表用)

令和5年2月24日公表

## 1. 当初予算テーマ

町民の心に響く「衝動的」なまちづくりを

## 2. 予算編成基本方針

町民ニーズと時勢に即した新規事業に着手するため、一般会計予算総額が前年度比4億円以上増額となる拡大予算を編成した。これは、財政健全化に軸を置いていたこれまでの「守勢」から「攻勢」へ、大きく町政運営を変革することを意味する。

財政健全化のため、令和2年度から積極的な事業見直しに取り組んできた。中央公民館機能移転や老朽化施設の解体など、公共施設の廃止・集約を大胆に実行したことも結実し、後年度の経常経費抑制につながっている。このような見直しによって得られた成果を、将来に向けて必要とされる新たな行政需要のために最大限に活用し、さらなる町民サービスの向上につなげていくことが町の責務であると考えている。

積極財政に舵を切るとはいえ、事業見直しにゴールはない。最小の投資で最大の効果を得ることが、これからの事業実施にあたって大前提である。最大の効果を得るといことは、事業を通して、町民はもちろん、町と関わる全ての人の満足度が高い状態にあることであり、町の事業が人の心に響くものでなければならない。「金山に住んでよかった。金山を訪ねてよかった」と、多くの人に感じてもらうために、感動や充足感を得られる事業を展開し「衝動的」なまちづくりに踏み出す年度としたい。

## 3. 一般会計予算の規模

(1) 予算総額 44億1,600万円〔前年度比+4億1,300万円(+10.3%)〕

(2) 主なハード事業

事業名	事業費	備考
中央公園整備事業(旧中央公民館解体含む)	2億1,075万円	新規
町道維持修繕事業(10路線)	4,116万円	
農村環境改善センター機能強化改修事業	4,000万円	
橋りょう補修事業(外沢橋)	3,631万円	
役場庁舎照明LED化事業	2,310万円	
三枝地区給水管入替事業(測量・設計)	1,320万円	新規

(3) 主なソフト事業

事業名	事業費	備考
町立金山診療所運営支援(一般会計からの運営費等支援)	1億 325万円	
デジタル化推進事業	4,000万円	新規
生活応援商品券配布事業	2,750万円	
育児支援事業(出産祝金、家庭育児支援金など)	2,433万円	
グリーンバレー神室一帯施設等指定管理料	2,300万円	新規
環境マネジメント構築事業(再エネ導入計画策定など)	1,213万円	
フラワーコネクションプロジェクト事業	700万円	新規

#### 4. 歳入・歳出の主な増減内容〔項目毎の予算額等は内示会資料参照〕

##### (1) 歳入

項 目	増 減
<b>1. 町税</b>	<b>▲ 0.3 %</b>
個人住民税	▲ 21 万円
固定資産税	▲ 305 万円
<b>2. 地方譲与税</b>	<b>+1.5 %</b>
森林環境譲与税	+30 万円
<b>3. 地方交付税</b>	<b>+2.5 %</b>
普通交付税	+3,450 万円
特別交付税	+2,000 万円
<b>4. 分担金及び負担金</b>	<b>+6.8 %</b>
高齢者生活福祉センター負担金	+9 万円
<b>5. 使用料及び手数料</b>	<b>▲ 14.5 %</b>
住宅使用料	+262 万円
神室スキー場・キャンプ場使用料	▲ 1,000 万円
<b>6. 国庫支出金</b>	<b>▲ 27.5 %</b>
新型コロナウイルスワクチン接種事業費負担金	▲ 1,871 万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	▲ 5,000 万円
<b>7. 県支出金</b>	<b>+16.8 %</b>
農地集積・集約化対策事業費補助金(機構集積協力金)	+2,604 万円
防災減災事業費補助金	+1,200 万円
<b>8. 財産収入</b>	<b>+14.5 %</b>
普通財産貸付収入(廃校利用等)	+243 万円
<b>9. 繰入金</b>	<b>+215.4 %</b>
財政運営基金繰入金	1億2,400 万円
かねやま応援基金繰入金	+6,549 万円
学校施設整備基金繰入金	+700 万円
<b>10. 諸収入</b>	<b>+13.7 %</b>
グリーンバレー神室電気使用料	+980 万円
日赤救済車設置助成金	+150 万円
<b>11. 町債</b>	<b>+101.3 %</b>
中央公園整備事業	+2億1,060 万円
農村環境改善センター機能強化改修事業	+3,490 万円
臨時財政対策債	▲ 1,670 万円

## (2) 歳出

項 目	増 減
<b>1. 義務的経費</b>	<b>▲ 0.8 %</b>
(人件費)	
正職員人件費+2,062万円 会計年度任用職員人件費▲2,126万円	+1,268 万円
(扶助費)	
障害者総合支援給付費▲1,741万円	▲ 2,065 万円
(公債費)	
	▲ 564 万円
<b>2. 一般行政費</b>	<b>+14.6 %</b>
(物件費)	
デジタル化推進事業委託料+4,000万円	
グリーンバレー神室一帯施設等指定管理料+2,300万円	
公共施設光熱水費+1,939万円	+9,342 万円
(維持補修費)	
町道維持修繕工事+2,228万円 公共施設除雪等業務委託料+1,491万円	+6,056 万円
(補助費)	
機構集積協力金+2,604万円 生活応援商品券配布事業+2,500万円	
最上広域市町村圏組合関連負担金+2,228万円	+7,308 万円
(積立金)	
かねやま応援基金積立金▲362万円 財政運営基金積立金▲323万円	▲ 1,249 万円
<b>3. 投資的事業</b>	<b>+63.3 %</b>
(補助事業費)	
三枝地区給水管入替事業(測量・設計)+1,320万円	
橋りょう補修工事▲189万円	+1,123 万円
(単独事業費)	
中央公園整備事業(旧中央公民館解体含む)+2億1,075万円	
農村環境改善センター機能強化改修事業+4,000万円	+2億1,429 万円
(災害復旧事業費)	
貝沢川護岸整備測量設計業務委託料+793万円	+793 万円
<b>4. 繰出金</b>	<b>▲ 4.5 %</b>
国民健康保険(直診)特別会計繰出金▲1,634万円(運営費分、公債費等)	
介護保険特別会計繰出金+98万円	
農業集落排水事業特別会計繰出金▲326万円	
公共下水道事業特別会計繰出金▲412万円	▲ 2,364 万円

## 5. 特別会計予算

### (1) 予算規模

水道事業会計の資本的収支予算を除く特別会計全体の予算合計(6会計)

予算総額 16億7,040万円〔前年度比▲1億9,330万円(▲10.4%)〕

### (2) 会計別の増減内容〔項目毎の予算額等は内示会資料参照〕

1. 国民健康保険特別会計(直診勘定)	2億2,810万円	(▲320万円 ▲1.4%)
全身用X線CT装置の更新		
2. 後期高齢者医療特別会計	6,500万円	(▲570万円 ▲8.1%)
保険料負担金(特別徴収・普通徴収)の減額		
3. 介護保険特別会計	9億2,910万円	(+400万円 +0.4%)
介護保険事業計画策定委託料の増額		
4. 農業集落排水事業特別会計	6,190万円	(▲1億180万円 ▲62.2%)
明安処理施設改修工事費の減額		
5. 公共下水道事業特別会計	1億9,080万円	(▲8,700万円 ▲31.3%)
浄化センター電気設備工事費の減額		
6. 水道事業会計	(収益的収支) 1億9,550万円	(+40万円 +0.2%)
	(資本的収支) 1億1,920万円	(+3,805万円 +46.9%)
(収益的収支) 外沢調整池修繕補修工事の増額、漏水調査委託費の減額		
(資本的収支) 排水管更新工事費・給水管付設替工事の増額		

## 6. 主な財政指標等の見込み

### (1) 令和4年度決算見込み

項 目	数 値	増 減
経常収支比率	90.4%	+4.9%
実質公債費比率(R2~R4の3年平均)	10.5%	+0.3%
将来負担比率	2.5%	▲6.5%
一般会計起債残高	36億9,062万円	▲2億2,228万円
全会計起債残高	52億 467万円	▲4,895万円

### (2) 令和5年度決算見込み

項 目	数 値	増 減
経常収支比率	92.0%	+1.6%
実質公債費比率(R3~R5の3年平均)	11.7%	+1.2%
将来負担比率	3.2%	+0.7%
一般会計起債残高	37億 901万円	+1,839万円
全会計起債残高	51億4,515万円	▲5,952万円